

経済統計 練習問題

第7回 人口に関する統計(3)

2017年10月18日

問1 以下の文章を完成させよ。ただし、___には語句、には数値が入る。

出生時の性比はおよそ であり、これは男:女 = : であることをあらわしている。

高齢化をあらわす指標には、高齢化率と老年人口指数がある。

高齢化率は、老年人口を _____ で割ったものであり、2016年現在の日本の高齢化率は{(a) 17.4% (b) 27.3% (c) 37.2% }であり、これは国連の分類によると _____ 社会に属する。

老年人口指数は、老年人口を _____ で割ったものであり、2016年現在の日本の老年人口指数は{(a) 25.5 (b) 45.2 (c) 54.4 }であり、これは現役世代約 人で、1人のお年寄りの面倒を見る計算になる。

合計特殊出生率とは、年齢別出生率を 歳から 歳まで加えたものであり、

「1人の女性が _____ 」

とみることができる。

合計特殊出生率が を下回る状況は将来的な人口減少を表すが、2016年現在の日本の合計特殊出生率は{(a) 2.43 (b) 1.78 (c) 1.44 }である。

再生産率は、産まれる女の子の数に着目した指標であり、総再生産率は「1人の女性が一生の間に産む平均女兒数」と考えることができる。

純再生産率は、総再生産率に _____ を考慮したものであり、 を下回る状況は将来的な人口減少を表す。

問 2 人口統計に関して、適切でない記述を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 「合計（特殊）出生率」は、年齢構成の違いを取り除いた上で、2つの国の出生の水準を比較する場合に使う。
- ② 特定の年における女子年齢各歳別の出生率を、15歳から49歳までについて合計した値は「合計（特殊）出生率」と呼ばれる。
- ③ 65歳以上の人口を15歳未満人口で除して、これを100倍した値は「従属人口指数」と呼ばれる。
- ④ 日本における完全生命表は、国勢調査人口（確定数）や人口動態統計（確定数）をもとに、国勢調査の実施にあわせて5年ごとに作成される。
- ⑤ 生命表において、その生命表の対象年次における年齢別の死亡水準が、その後も変化せずに続いた場合に、 x 歳以降に、平均してあと何年生きられるかを、 x 歳における平均余命といい、出生時における平均余命を平均寿命ともいう。

(統計検定 専門統計調査士 2013)